

1. 千葉市の放課後施策の基本的な考え方

- ① 全ての子どもに安全・安心に過ごせる居場所を提供
- ② 全ての児童を対象に「学びのきっかけ」を提供
 - ・ 共稼ぎで送迎が難しい家庭や貧困家庭の児童も放課後の過ごし方を選択できる環境を提供
 - ・ 企業等による質の高いプログラムの継続と地域教育力の維持・向上
- ③ 納得感のある保護者費用負担を検討し、財政的に安定した運営を実現

2. 29年度の取組み

(1) 放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業(モデル事業)について

○希望する全ての子どもが家庭環境に関わらず一緒に過ごし、多様な体験活動ができるよう、「放課後子ども教室」と「子どもルーム」を一体的に運営するモデル事業を1校で開始(H29年4月より)

■ サービス区分／利用料金／一日の過ごし方(通常授業日の例)

区分	対象	時間	通常料金 (月額)	夏季料金 (月額)	過ごし方	
昼間	全児童	授業終了後 ～ 17時	2,000円	3,000円	多様な体験プログラム + 自由遊び・生活の場	↑ 放課後子ども教室的な活動
夜間	就労家庭等 の児童	17時 ～ 19時	5,000円	5,000円	生活の場 (※昼間の登録者は下校)	↓ 子どもルーム的な活動

※ 夜間登録者についてはおやつ代(2,000円)を別途徴収

※ 子どもルームの利用料金は月額7,400円(おやつ代別)

○登録率は全学年(150名)では約6割。低学年ほど登録率は高く、高学年になるにつれ下がる

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
登録児童数	31人	21人	27人	6人	5人	0人	90人(夜間16人)
登録率	(79%)	(78%)	(87%)	(46%)	(24%)	(0%)	(60%)(夜間11%)

一体型事業（稲浜小学校）での活動状況

○4月4日（火）に和太鼓パフォーマー「無限」を招いて開所式を開催



○様々なプログラムが提供されている中から子どもが選択（宿題をしたり、ゆっくり休んだり、プログラムに参加したり……）



車いす体験



○継続プログラムの実施



体操教室



はじめてえいご

○登録者のうち、平日は20～56人（約6割）、土曜日は2～19人（約1割）が利用



○入退室時にICカードをかざすことで保護者にメールで通知



○地域の方がボランティアとして参加

プログラム名	開催日	料金	登録者数
宮本算数教室	木	5,022円/月	16
体操	金	5,508円/月	10
はじめてえいご(アルク)	水	5,022円/月	12
プログラミング教室	月	4,212円/月	5

(2) 放課後子ども教室の活動支援について

- 放課後子ども教室モデル事業(総合コーディネーターによる活動支援)の継続実施 : 10校(H28年4月より)
- 活動支援校10校のうち5校を重点校として支援体制を強化(H29年4月より)し、ボランティアの負担を軽減するため、総合コーディネーターが、プログラムの提供に加え、児童の管理やプログラムの実施等の業務に参画
- 重点支援校のうち4校(★)では有料の「継続プログラム」を実施

	実施回数			申込み人数／全校児童数(割合)		
	H27	H28	H29 (計画)	H27	H28	H29
鶴沢小	16	27	<u>25</u>	56／442(13%)	71／467(15%)	73／475(15%)
花園小★	28	34	<u>30</u>	39／698(6%)	112／720(16%)	151／731(21%)
朝日ヶ丘小	11	30	<u>20</u>	27／289(9%)	41／273(15%)	<u>30／257(12%)</u>
園生小★	10	25	27	73／724(10%)	100／724(14%)	<u>85／700(12%)</u>
小中台小★	15	23	27	76／933(8%)	88／963(9%)	93／943(10%)
千城台南小	16	25	<u>22</u>	10／166(6%)	58／185(31%)	<u>46／193(24%)</u>
都賀の台小	12	21	22	16／427(4%)	45／450(10%)	57／436(13%)
金沢小★	4	23	24	76／691(11%)	112／715(16%)	114／735(16%)
幕張西小	14	24	<u>21</u>	52／1021(5%)	102／1090(9%)	<u>59／1071(6%)</u>
高洲第四小	8	11	10	34／190(18%)	32／173(18%)	<u>26／157(17%)</u>

28年度は支援の開始に伴い実施回数、参加人数ともに増やしたが、実行委員会の業務負担の増加も考慮し、重点支援校(★)以外の学校を中心に、29年度は、回数や参加条件を見直している。(下線部)

⇒ 今後、プログラムの質、実施回数や参加人数を拡充していくにあたっては、支援方法等の検証が必要

(3) 子どもルームの拡充・民間事業者への補助制度の新設について

①「待機児童解消のための緊急3か年対策」等に基づき、子どもルーム4か所の整備(200人分の受入枠拡大)等前年度の施設整備等により、29年4月における低学年の待機児童数は約7割減の77人を達成したが、子どもルームの利用が平均で毎年5%以上(360人)増加している現状を踏まえ、今後も引き続き整備が必要な箇所を精査する。

②放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者に対する補助制度を新設

待機児童解消に効果が認められる事業の実施等を条件とする。(29年度予算額14,158千円／2事業者)

1事業者に対して補助を実施しているほか、他の事業者についても年度内の事業開始に向けて協議中。

新たな施設整備の抑制、事業の担い手の多様化等のため、補助事業者の更なる増加及び補助制度の拡充を図る。

※ 指導員の確保対策として、30年度から千葉市社会福祉協議会以外の民間事業者への運営委託を検討。

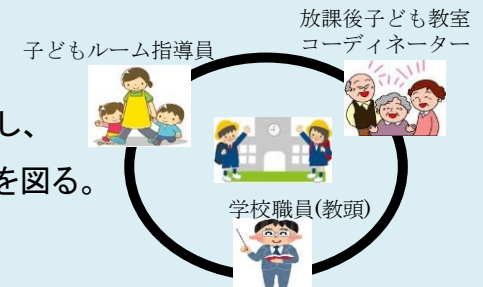
(4) 放課後事業の円滑な実施に向けた取組みについて

①放課後連絡会議の開催

子どもルーム指導員・放課後子ども教室コーディネータ・学校で「放課後連絡会議(仮称)」を開催し、子どもに関すること、学校施設の利用等について情報共有や調整を行い、3者のより一層の連携を図る。

②「空き教室」及び「余裕教室」の有効利用に向けた検討

これまでの千葉市の「空き教室」の定義を見直すなど、教室を共用する際のルールを示すことにより学校施設の「共用」を円滑に行うことができる環境を整える




3. 今後の取組予定

モデル事業等での取組みの成果・課題を評価・検証し、平成30年度を目途に「千葉県放課後子どもプラン(仮称)」を策定する。

■「放課後子どもプラン(仮称)」の策定に向けた視点

- ・安全・安心な居場所のニーズの精査（対象の範囲、必要な環境等）
- ・放課後における「学びのきっかけ」のニーズや効果の精査（内容、量、価格等）
- ・地域・学校ごとの特性、ニーズの精査（地域住民の協力体制、学区の広さ、校舎や教室の状況等）

⇒ 一体型の計画的な導入を視野に、放課後対策の課題・方向性を横断的に整理

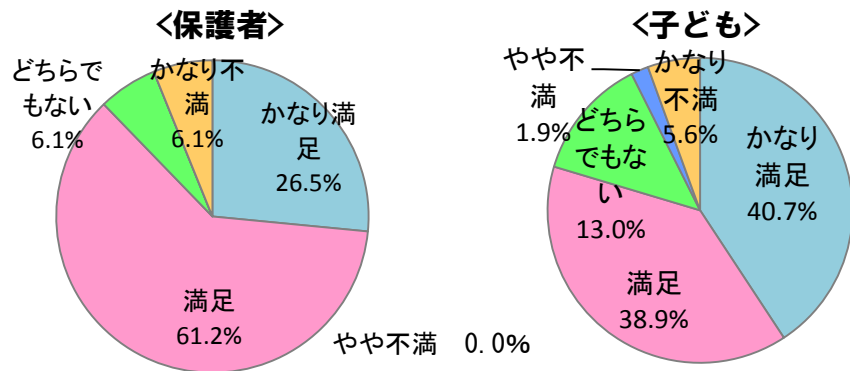
	子どもルーム	一体型	放課後子ども教室
28年度	緊急3か年計画(30年度まで)		活動支援(10校) 【新規】
29年度	4か所増設 民間事業者補助制度新設	モデル校開設(1校)【新規】	活動支援(10校) ※一部を重点支援校(5校)として 運営支援
30年度	増設 委託先の多様化		活動支援 ※一体型の導入に時間を要し、 緊急に支援が必要な学校を 中心に継続
<div style="background-color: #FFDAB9; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">モデル事業等の検証 ～放課後子どもプラン(仮称)策定</div> 			
31年度以降	<div style="background-color: #FFDAB9; padding: 5px;">放課後子どもプランに基づく計画的な事業展開</div>		

(参考) モデル事業に関するアンケート①

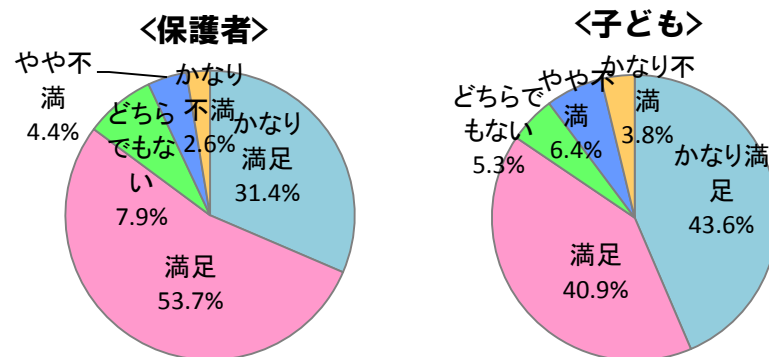
実施日:平成29年7月、対象者・回収率:(一体型;稲浜)150人、66.0%、(重点支援校;花園・小中台・金沢)2,409人、75.3%

一体型事業・放課後子ども教室(活動支援重点校)に参加する子ども・保護者の満足度はいずれも高く、全ての児童を対象として「学びのきっかけ」を提供する方向性は支持されている

◆一体型事業(稲浜小)の利用者の満足度



◆放課後子ども教室(重点支援校3校)の利用者の満足度



◆一体型事業(稲浜小)を利用して変化はあったか?(複数回答可、回答者のうち利用者49人)

<保護者>

子どもの放課後について安心が得られた	45人
自分の時間が取れるようになった	13人
子どもと話す機会が増えた	7人
習い事等を考えなくて良くなった	6人
特にない	0人

- ・パートで働けるようになりました
- ・長期休みも預け先の心配をせずに仕事ができるようになった
- ・移動の心配やお迎えの時間を減らすことができた
- ・通常のルームではルーム内で習い事ができないのでありがたい
- ・子どもの意思で関わりの持てる場所ができました

<子ども>

友達が増えた	24人
興味・関心のあるものが増えた	22人
外で遊ぶ機会が増えた	17人
学習・運動が楽しくなった	6人
自宅でも学習するようになった	2人
放課後も学習・運動をするのは疲れる	1人
自由な時間が減った	0人
特にない	5人

- ・(一体型事業があることで)学校に行くのが楽しそう
- ・保護者が家にいる日でも行きたいプログラムがあれば参加している
- ・雨の日でも遊べる場所ができた
- ・部屋のおもちゃが少なくなつまらないと言っていることがあった
- ・自宅学習の時間が減ってしまい時間の使い方を見直す必要ができた

(参考) モデル事業に関するアンケート②

◆一体型事業を利用しない理由

(複数回答可、回答者のうち利用していない者48人)

子どもが利用したがる	17人
保護者が家にいる	14人
塾や習い事がある	14人
友達が利用していない	3人
継続プログラムのみの利用ができない	3人
低学年と高学年を分けていない	2人
費用が高い	1人

- ・子どもが小さかったら利用していた。
- ・6年生なので、留守番できる。

◆放課後子ども教室を利用しない理由

(複数回答可、回答者のうち利用していない者1,174人)

保護者が家にいる	466人
塾や習い事がある	462人
子どもが利用したがる	262人
就労等により保護者が協力できない	256人
必要性がない	142人
事業を知らない	138人

- ・日程(曜日)が合わない
- ・子どもに小学校の生活に慣れさせるのが優先と考えるため
- ・民間の学童保育を利用している、子どもルームを利用している
- ・登下校とずれるので帰り道が心配
- ・高学年になって家で留守番できるようになった

継続プログラムについて

学校	放課後子ども教室の登録数	プログラム名	開催日	料金	登録者数
花園	151人	コーラス教室	水	500円/回	18
		はじめてえいご(アルク)	金	4,980円/月	8
		ものづくり教室	水	4,980円/月	11
		宮本算数	金	4,980円/月	9
園生	85人	ものづくり教室	金	4,980円/月	6
		プログラミング	金	4,800円/月	9
小中台	93人	ものづくり教室	火	4,980円/月	9
		かけっこ教室	火	4,980円/月	21
		文章作りが楽しくなる講座	火	4,320円/期	5
金沢	114人	ものづくり教室	木	4,980円/月	4
		宮本算数	木	4,980円/月	8

※一体型事業の継続プログラムについては2頁に掲載

◆利用のきっかけ(複数回答可)

子どもの希望	33人
保護者の希望	18人
同様の習い事に興味があった	13人
体験会に参加して興味がわいた	13人
保護者の送迎が不要	12人
放課後の居場所として	4人
市場価格より安価	1人

◆利用しない理由(複数回答可)

費用が高い	116人
子どもが利用したがる	38人
様子を見たいと思った	34人
塾や習い事で時間がない	31人
継続プログラムを知らなかった	17人
プログラムに魅力がない	13人
塾や習い事の方が良い	12人

◆継続プログラムに望む費用

